第２次 留萌市子どもの読書活動推進計画（平成22年度～26年度）

読書活動は、子どもが人生をより深く生きる力を身につける上で欠くことができないものです。良い本との出会いを大切に読書経験を積み重ねる中で、子どもは心で感じ、考えを深め、感性を磨き、判断力を伸ばし、表現力を高めていきます。

留萌市では、「第２次留萌市子どもの読書活動推進計画」を前計画（平成16年度～20年度）に続き策定し、すべての子どもが読書に親しみ、知る喜びを感じることができるよう、様々な読書機会を提供するとともに、「いつでも、どこでも、だれもが読書できる環境」を整えてまいります。

留萌市の子どもの読書活動の現状

留萌市では、ブックスタート事業や親子に対する読み聞かせなどを始め、図書館ボランティアの育成や活動支援を行ってきました。

また、小中学校においては「全校一斉読書活動」の取り組みや「学校図書館ボランティア」の熱心な活動により、この５年間で子どもたちの読書に対する意識が大きく変化しています。

特に、留萌市の小学生は「本好き」で、１カ月に１冊以上の本を読む子どもは平成17年に比べて増加しており、小学生の読書活動は活発化してきています。

一方、中学生については、本好きの割合が全国中学生平均に比べ低い傾向にあるため、子どもたちの興味・関心を尊重しながら、様々な働きかけを行ってまいります。

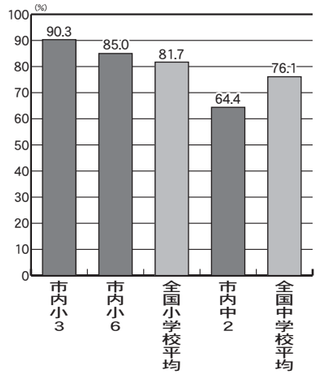
■計画の策定に当たり、市内小中学生に読書アンケートを実施（平成21年12月）したので、その一部をご紹介します。　＜調査対象は、市内小学3年・6年、中学2年＞

●本が「好き（どちらかと言えば好き）」の割合

90.3%・85.0%

（小学3年）　（小学6年）

（留萌市の小学生は、全国小学生平均と比較し、『本好き』の傾向が強い。）

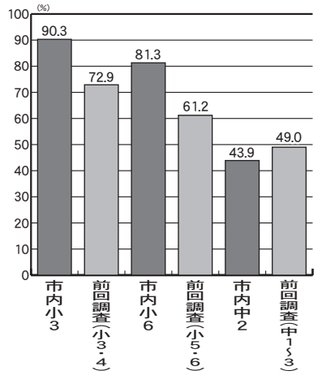


●１カ月に１冊以上本を読む子の割合

90.3%・81.3%

（小学3年）　（小学6年）

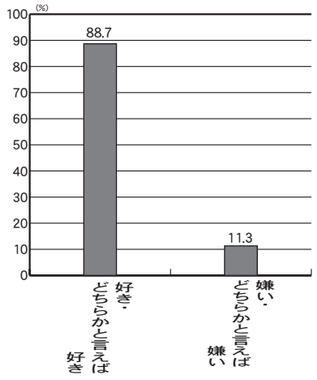
（前回調査（平成17年留萌市）と比較すると、『１冊以上本を読む』小学生が増加。）



●幼い時によく本を読んでもらった子どもの「本が好きになる」割合

88.7%

（小学生及び中学生の約９割が「本が好き（どちらかと言えば好き）」と答えた。）



今年は、国民読書年です！

たくさん本を読もう！　楽しく本を読もう！

第２次子どもの読書活動推進計画の概要

計画目的：読書の楽しさを知り、自ら進んで本を読むような環境づくりを、家庭・地域・学校などが連携して推進するために策定
計画期間：平成22年度～26年度（５カ年）
計画対象：おおむね18歳以下の子ども

※国民読書年とは？
平成20年6月、「国民読書年に関する決議」において、平成22年を「国民読書年」とすることが国会で決議されました。
この決議では、読書への国民の意識を高めるために政官民が協力し、国をあげてあらゆる努力を重ねることが宣言されています。

図書館の取り組み

○ブックスタート事業により初めての本との出会いづくりに努めます。
○児童書の充実に努めます。
○おはなし会や子ども映画会などの充実に努めます。
○家庭、地域、学校などへの読書活動の啓発に努めます。
○図書館ボランティアとの連携と活動支援に努めます。

家庭の取り組み

○家族で読書に親しみましょう。
○図書館などでの「おはなし会」に参加しましょう。
○親子読書や読み聞かせの時間を持ちましょう。
○読書する雰囲気作りを心がけましょう。

学校の取り組み

○全校一斉読書活動を進め、子どもの読書習慣の確立に努めます。
○ボランティアとの連携により学校図書館の環境整備と読書活動の活発化に努めます。
○図書、資料の充実に努めます。

児童センター、幼稚園、保育園などの取り組み

○絵本の充実や貸出文庫の利用促進に努めます。
○読み聞かせなどによる読書活動の推進に努めます。

読書で育む子どもの心

留萌市では、子どもが読書に親しめる環境づくりを進めるために、図書館、学校、幼稚園などの関係機関、団体との緊密な連携と相互の協力により、本計画推進に取り組んでまいります。

※計画の詳細は、
市教委ＨＰ（http://www17.ocn.ne.jp/~rumoikyo/）でご覧になれます。

「第２次留萌市子どもの読書活動推進計画」に関するお問い合わせはこちらまで
市教育委員会生涯学習課
☎４２・０４３５
電子メール：kyouiku007@yacht.ocn.ne.jp

市立留萌図書館　本館　☎４２・２３００　分館　☎４２・３３３３

【本館】　休館日：毎週月曜日、年末年始
開館時間：10時～17時30分まで
※4月～10月の木曜日は19時まで開館
※祝日開館（月曜日と重なった場合は休館）

【分館】　休館日：年末年始
開館時間：9時～21時まで（日曜日は18時まで）
分館は中央公民館１階事務室内です。